

安全上のご注意

警告

- 煙が出ていたり、変な臭いがあるときは、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 落としたり、キャビネットを破損した場合はすぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- コード類・プラグ類が傷んだり、水に濡れた場合は、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ご使用になるとき

- 修理・改造・分解はしないでください。火災・感電の原因となりますので、点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。本製品を分解・改造をした形跡があると、保証期間内であっても保証対象外となる場合があります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 水に濡らしたりしないでください。火災・感電の原因となります。水辺での使用はしないでください。
- 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないで下さい。交通事故の原因となります。
- 航空機内で使用するとき、航空会社の指示に従ってください。航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

設置するとき

- 野外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 上に物を置かないでください。金属類や、花瓶、コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。重いものを乗せると故障の原因にもなります。
- 本機は、振動の無い安定した場所に固定して設置してください。振動を与えると、故障の原因となります。
- 閉め切った自動車内・ストープなどのそばに設置しないでください。故障・火災・感電の原因になることがあります。
- 本製品を作動させながら移動・持ち運びをしないで下さい。故障・火災・感電の原因となります。

注意

- 温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストープのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。
- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないでください。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になることがあります。
- 移動させる場合は、本機の接続を全て外してください。接続したまま移動させると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

ACアダプターについて

- ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターを分解・改造・修理しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードは、傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプターの電源コードは、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟んだりしないでください。
- ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりを取ってください。火災・感電の原因となります。
- 通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、指定のものを使用してください。指定以外のACアダプター・ケーブルを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。万一故障した場合、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは本機以外の用途に使用しないでください。
- ACアダプターの電源はコンセントの奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーについて

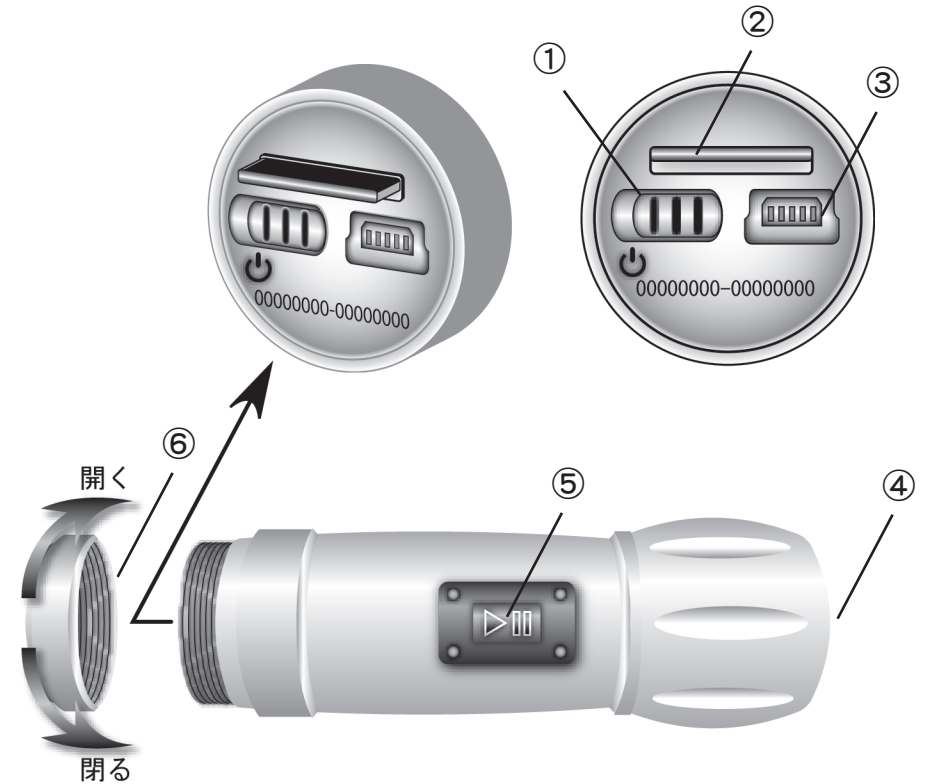
- 指定されたバッテリーパックを使用してください。指定以外のものを使用すると、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないでください。破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックの近くに、金属や水気のあるものを置かない様にしてください。電極（+端子と-端子）に接触すると、ショートし、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、火災・感電の原因となります。
- バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。破裂・発火の原因となります。

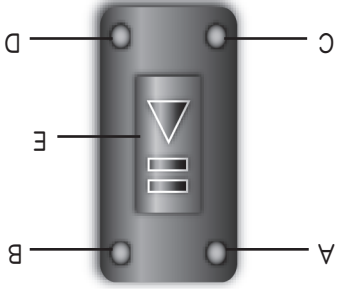
免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社・販売店の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。

各部名称

- ① 電源スイッチ：左にスライドさせると本体の電源が入ります
右にスライドさせると電源が切れます
USB接続する時は右にスライドさせてください
- ② Micro SD：マイクロSDカード挿入口（最大8GB）
- ③ USB：付属のUSBケーブルを挿しPCと接続できます
- ④ レンズ：カメラのレンズです
- ⑤ 録画・撮影/停止ボタン：ボタンを押すと録画開始（撮影）/録画停止できます
- ⑥ キャップ：キャップを外すと電源スイッチ・USB・マイクロSD挿入口が確認できます





- A: 青ランプ 電源が入ると点灯します
 B: 赤ランプ 充電中に点灯します
 C: 緑ランプ 録画中に点滅します
 ※写真モード中は押した時だけ
 ランプが点灯します
 D: 橙ランプ 点灯 録画モード
 消灯 写真モード
 ※3秒以上Eボタンを押し続けること
 モード変更します
 E: 録画開始/停止/写真ボタン

※ 512MB～8GBまでのマイクロSDを使用してください
 SDHCを御使用の場合 CLASS4にしてください
 8GBで約3時間録画可能

録画モード: 電源を入れると初期状態初期状態は橙ランプ(D)が

- 点灯し録画ができる状態です
 録画開始ボタン(E)を押すと緑ランプ(C)が
 点滅し録画を開始します 録画停止はもう一度
 Eボタンを押すと緑ランプ(C)が消灯し録画が停止します
 写真モード: 橙ランプ(D)が点灯している状態でEボタンを
 3秒以上長押しすると橙ランプ(D)が消灯し写真モードに
 変更します 写真撮影したい所でEボタンを押すと
 写真が撮影できます

時間変更

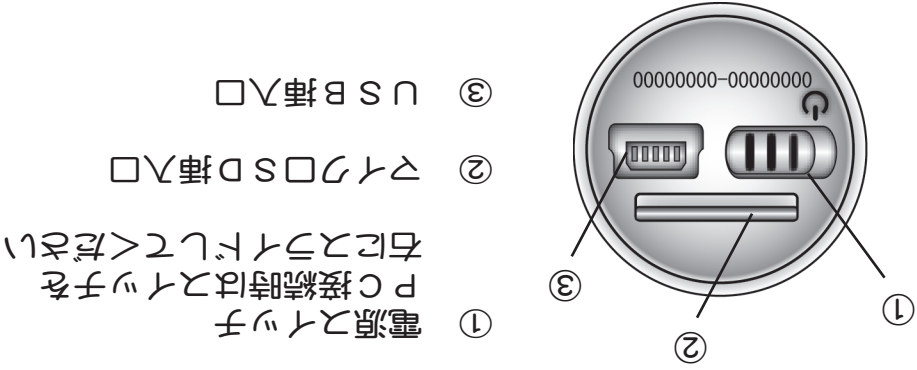
PCでメモ帳を開きます

Windows XPの場合 29-1→すべてのプログラム→アクセサリ→メモ帳
 ファイル名を USERCONF.txt にします

そのファイルの中に 日付/時間を書き込み保存します 例 2009-05-30 18:10:50

PCに本体を接続した状態でマイクロSDカードにPCで作成したファイルを保存してください

PCとの接続を外し本体の電源を入れた時に日付/時間が更新されます



- ① 電源スイッチ
 PC接続時はスイッチを
 右にスライドしてください
 ② マイクロSD挿入口
 ③ USB挿入口

録画された映像を確認する為に付属のUSBケーブルを
 本体のUSB挿入口に接続しPCも同様に接続します

マイクロSDのカードリーダーをご使用の場合は

マイクロSD挿入口からカードを取り出し

カードリーダーに挿入後PCと接続してください

PCと接続するとアルバムタイトルとして認識しますので

アルバムタイトルの内容を確認してください

AVフォーマットには録画した映像が保存されています

JPEGフォーマットには撮影した写真が保存されています

充電

付属のUSBケーブルを本体に差し反対側をPCに挿すと充電が開始します
 この時電源スイッチはOFFにしてください
 赤ランプが点灯していると充電中です
 充電が完了すると赤ランプは消灯します
 充電式リチウムイオン電池
 充電目安時間: 約 8 時間
 連続使用目安時間: 約 3 時間